



波濤

http://www.geocities.jp/hatoh_net/

第 3 8 号

発行 放送大学神奈川同窓会
編集委員会
責任者 笠井政記
発行日 平成21年10月1日
会員数 556名(平成21年10月1日現在)

放送大学神奈川学習センター 同窓会への期待



放送大学神奈川学習センター
所長 渡辺慎介

つい最近、妻の父親が95歳の天寿を全うした。亡くなる数日前に「計画は？」と妻に問うたという。何のことかと尋ねると、家に帰る計画だと言う。寝たきりでベッドから離れることもできないのに、退院の計画を聞いたのだ。いつも冷静な義父だっただけに、それには妻も呆れていた。家に帰りたい、その気持ちの表れかもしれないが、それよりも、もはや自分の状況を適切に判断できる体の状態ではなかったから、そんな質問をしたのだろう。

義父の葬儀では、もうすぐ3歳になる孫娘が一人、だだをこねて騒いでいた。2歳の幼児には葬儀のなんたるかを知る由もないから、静かに席に着いていなければならない理由を理解しなくても仕方のないことではある。

状況を客観的に判断して適切に行動するには、経験が必要であるから、経験の乏しい幼児や子供にそうした行動を要求するのは無理であり、また義父のように病に冒された重病人にもそれは不可能である。だから、経験と健康が客観的判断と適切な行動の源泉となる。最近読んだ本の中に、塩野七生さんの「海の都の物語…ヴェネツィア共和国の一千年」がある。古い本であるが、最近になって文庫本として復活した。ナポレオンに征服された頃のヴェネツィアは、イタリア半島に広大な土地を領有し、そこでの農業収入が国の財政を支えていたのに対し、建国から数百年のあいだは海洋交易による収益が共和国の財源になっていた。貧しい若者でも兵士として船に乗り、兵術を覚えながら航海術を修得し、さらにある制限内で持ち込みを許された商品をもとに海外で個人単位の交易をして商売のやり方も覚える、そうした多角的な経験を積む機会があった。コンスタンティノープルをはじめとした海外の商館における長い交易の経験は、40代から50代になってヴェネツィアに戻れば外交の達人としての能力として活

用された。農業国になってからは、人々の経験が単一化して多様な視点からの判断を国全体として下すことができなくなり、いまだ十分な海軍力を持ちながら、戦わずしてナポレオンの軍門に下る羽目になる。

いまの日本も、かつてのヴェネツィアのような一人の人間が多様な経験を積み上げる環境にない。だから、政権が変わっても、首長が交代しても、大幅な政策の転換は期待できない。政治の世界では特に、単一経験民族に成り下がってしまった感がある。

放送大学は、幸いにして、多様な経験をもつ幅広い年齢層の人々が集う類い希な組織である。しかも勉強の目的が、学位取得、免許取得、スキルアップ、生涯学習、趣味の高度化、などなど人によってまちまちである。集う学生も10代から90代まで幅が広い。また、健常者だけではなく、障害のある方も勉強している。この多様性こそ、放送大学が大切にしなければならない特徴である。

神奈川学習センター同窓会も多様な経験の持ち主の集まりである。地域における生涯学習の拠点として、神奈川学習センターが担うべき課題と活動、そして戦略について皆さんと意見を交わしたい。皆さんのこれまでの豊かな経験を神奈川学習センターの活動に生かしたい。

これが、私の神奈川学習センター同窓会への期待である。

しかし、本音を言えば、酒を飲みながら何でも話したい、そんなところである。

ご挨拶

神奈川同窓会
会長 笠井政記

神奈川同窓会の会長を仰せつかっております、笠井政記です。会員や関係者の皆様方には、日頃同窓会の業務にご尽力いただきましてありがとうございます。今後も同窓会活動に変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

総会を平成21年6月13日に開催いたしました。平成20年度の活動報告、決算報告及び平成21年度の活動計画と収支予算が承認されました。これに従いまして、平成21年度は、実行させていただきます。ありがとうございました。

私は、昨年は放送大学同窓会連合会の会長として連合会の業務に専念させていただきましたが、今年は、会長職を辞しましたので、神奈川同窓会の発展と充実のために努めさせていただきます。

さて、昨今は、挨拶をしない、問われても返事はしない、はたまた路上で座り込んだり、大きな音で音楽を聴いたり、人の迷惑を顧みない若者を多く見かけます。また、服装も乱れております。所謂ルールが守れない子どもが多くなっており、社会性の不足が指摘されております。更に親子間にトラブルが生じ、新聞を賑わせる様な事件が起こっております。これらの責任は、90%親に責任があると言っても過言ではありません。親の教育不足が原因だと思います。

カトリックの中心であるヴァチカンの「教育宣言」というものの中に、「両親は、子どもに命を授けたのであるから、子どもの教育と言う極めて重要な義務を持っている。子どもの最初の学校は家庭である。最初の教師は親である」という一説がある。良い子育てをしようと思ったら、親が修養によって徳を高め、他者中心の生き方をする事です。そういう家庭の雰囲気は温かく、躰も自然と身につきます。反対に、親が上司の不満、他人の悪口などいつも言っているようでは、家庭の雰囲気も悪くなり、必然子どもに悪い影響を与えます。

いつも、「ありがとう」の言葉を口にし、何事にも「感謝」をし、「私はツイテいる」とプラス思考で生きる。そして、家庭内の“陽気”を心がけることです。それが最良の子育てとなるのです。

子供に対する両親、家族の教育不足が重大事故を引き起こしていると思うのです。

私たちは、放送大学で学び、今なお学び続けているのです。この大学で学び得たもの、培ったものを実社会で生かしていただきたいと思います。

そして、「子どもは親の後ろ姿を見て育つ」という言葉を地で行くような後姿を見せられるような親(大人)になっていただきたいと願っています。

第20回通常総会報告

平成21年6月13日(土)午後1時より「第20回放送大学神奈川同窓会通常総会」が神奈川学習センター第1講義室において開催されました。議長及び書記の選出の後、次の議案が提出され審議されました。

審議事項

- 第1号議案 平成20年度活動報告
- 第2号議案 平成20年度収支決算報告及び監査報告
- 第3号議案 平成20年度社会貢献活動報告
- 第4号議案 平成20年度社会貢献活動収支決算報告及び監査報告
- 第5号議案 平成21年度活動計画

- 社会貢献活動計画
 - 第6号議案 平成21年度収支予算
 - 社会貢献収支予算計画
- 以上6件の議案はそれぞれ承認されました。

総会后 裁判員制度の講演が開催されました。2009/5/21に始まる裁判員制度は放送大学同窓生や学生教職員にとっても関心が高く多数の会員や学生が来場し横浜地方検察庁 検察広報官 大石 高人氏のわかりやすい説明とともに活発な質疑応答が行われました。講演後の懇親会には渡辺所長 宮崎事務長ほかご来席下さり和やかな一時となりました。



総会の風景



裁判員制度の説明

平成20年度収支決算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
(1) 前年度繰越金	3,587,494	3,587,494	
(2) 本年度収入	1,015,000	628,452	△ 386,548
① 入会金	150,000	96,000	△ 54,000
② 年度会費	858,000	519,000	△ 337,000
③ 寄付金	5,000	10,000	5,000
④ 利子	4,000	3,452	△ 548
⑤ 雑収入			
合計(1)+(2)	4,602,494	4,215,946	△ 386,548

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	差異
(1) 本年度経費支出	1,014,020	792,743	221,277
A 活動費	480,000	345,003	134,997
① 会報費	350,000	252,795	97,205
② 活動運営費	100,000	68,167	31,833
③ 卒業祝賀運営費	30,000	24,041	5,959
B 事務運営費	534,020	447,740	86,280
① 連合会活動費	50,000	74,680	△ 24,680
② 会議費	30,000	9,578	20,422
③ 交通費	120,000	135,100	△ 15,100
④ 通信費	50,000	52,420	△ 2,420
⑤ 振替手数料費	102,720	54,860	47,860
⑥ 消耗品費	30,000	38,700	△ 8,700
⑦ 交際費	20,000	2,050	17,950
⑧ HP維持・管理費	6,300	16,065	△ 9,765
⑨ 雑費	25,000	14,042	10,958
⑩ 予備費	100,000	50,225	49,775
小計(A+B)	1,014,020	792,743	221,277
(2) 次年度繰越金	3,588,474	3,423,203	165,271
合計(1)+(2)	4,602,494	4,215,946	386,548

平成20年度社会貢献(フォスター・プラン)収支決算報告

平成20年4月1日～平成21年3月31日

1 収入の部

科目	予算額	決算額	差異
(1) 前年度繰越金	985,482	985,482	
(2) 本年度収入	340,800	279,125	△ 61,675
① 寄付	330,000	268,460	△ 61,540
② 同窓会より助成金	10,000	10,000	
③ 貯金利子	800	665	△ 135
合計(1)+(2)	1,328,282	1,284,587	△ 61,675

2 支出の部

科目	予算額	決算額	差異
(1) 本年度支出計	345,000	339,157	5,843
① 援助金	300,000	300,000	
② 活動費	10,000	10,000	
③ 事務費	23,000	18,181	4,819
④ 通信費	12,000	10,976	1,024
(2) 次年度へ繰越	981,282	925,430	55,832
合計(1)+(2)	1,328,282	1,284,587	81,675

平成21年度収支予算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

1. 収入の部

科目	予算額
(1) 前年度繰越金	3,423,203
(2) 本年度収入	663,000
① 入会金	100,000
② 年度会費	550,000
③ 寄付金	10,000
④ 利子	3,000
合計(1)+(2)	4,086,203

2. 支出の部

科目	予算額
(1) 本年度経費支出	776,000
A 活動費	365,000
① 会報費	270,000
② 活動運営費	70,000
③ 卒業祝賀運営費	25,000
B 事務運営費	411,000
① 連合会活動費	20,000
② 会議費	20,000
③ 交通費	120,000
④ 通信費	40,000
⑤ 振替手数料費	66,000
⑥ 消耗品費	30,000
⑦ 交際費	10,000
⑧ HP維持・管理費	25,000
⑨ 名簿管理費	30,000
⑩ 雑費	20,000
⑪ 予備費	30,000
(2) 次年度繰越金	3,310,203
合計(1)+(2)	4,086,203

平成21年度社会貢献予算

平成21年4月1日～平成22年3月31日

1 収入の部

科目	予算額
(1) 前年度繰越金	925,430
(2) 本年度収入	350,600
① 寄付金	340,000
② 一般会計から繰入	10,000
③ 貯金利子	600
合計(1)+(2)	1,276,030

2 支出の部

科目	予算額
(1) 本年度支出	342,000
① 援助金	300,000
② 活動費	10,000
③ 事務費	20,000
④ 通信費	12,000
(2) 次年度へ繰越	934,030
合計(1)+(2)	1,276,030

投稿コーナー

放送大学 20 年の軌跡

吉田昭二

35年の会社勤めを卒業し講師として高校で数学を教えていた1989年の春ふとしたきっかけで放送大学に選科生として入学、大学生と高校の先生という一寸変わった経験の後3年目に全科生に転じ以降18年かけて人間の探究(1995/3)、社会と経済(1997/3)、自然の理解(1999/9)、産業と技術(2001/9)、発達と教育(2005/9)、生活と福祉(2009/3)の順に6専攻を卒業しました。造船所の設計技術者として典型的理系人間だったので大学では方向転換して文芸や歴史を学ぶべく人間の探究専攻から始めました。

20年間に放送授業312単位、面接授業63単位で合計375単位取得しました。一方認定試験の科目数は再試験を含めて延241科目で内訳は合格が155科目(64%) 不合格が86科目(36%),更に合格の内訳は○が24科目,Aが38科目,Bが59科目,Cが34科目です。不合格の内訳はDとEで53科目、試験欠席が33科目でした。生々しく思い出すのは連続5回不合格で6度目に合格した「文芸史と文芸理論」です。外にも4回目で合格した1科目、3回目に合格した2科目がある一方で2乃至3回の不合格で断念したのも19科目あります。

選科生から全科生3年に編入したので2年間在籍し所定の単位を取得すれば卒業できるのですが人間の探求では専攻特論で躓き4年かかって卒業しました。後の5専攻は再入学なので2年の在籍と所定の単位取得で卒業できるのですが4番目までは順調でした。第4回目卒業直前の7月に胃癌が見つかり卒業直後の10月に胃全摘出、膵臓の三分の一と左腎臓摘出手術で入院しました。第5回目からは療養生活のため勉強もスローになり4年かかって卒業したのですが最後の生活と福祉に入った2006年6月心不全発作がありペースメーカー埋込手術、更に2007年11月に検査入院で大腸癌が見つかり年末年始の病院生活を経て1月末に開腹手術を受け命拾いしました。

無駄無くやれば12年で6専攻卒業できるところを18年掛かったことになります。選科生の2年と併せて20年の軌跡を振り返ってみると誠に感無量です。放送大学入学は大きな人生の転機であったわけですが過去60数年を振り返ってみると四回の大きな人生の転機があったと思います。

最初は昭和20年(1945年)の8月から年末にかけての海軍兵学校からの復員と旧制三高への編入試験合格です。二番目は大学を東京か関西にするか悩んだ末に京都大学に無い学科を志望するという理由を付けて東京にしたのが大きな転機でありました。卒業就職も転機ですが私の場合は大学の学科を選択した時点で目途はついていたので悩みませんでした。三番目は昭和49年の左眼摘出手術後の数年です。ペーチェットの疑いで右眼転移から失明の恐怖に悩み大げさに言えば仕事も手につかない状態でした。幸い術後30数年経ちましたが

右眼に異常は無く安心しております。

四番目は勿論放送大学入学です。放送大学の20年間は健康面では大事件が度々ありましたが転機にはならず勉学一途に励む事が出来たのは家族、大学、サークルの友人達の激励とご指導のお陰と深く感謝しております。



放送大学学位記授与式で学長表彰を受ける吉田さん。放送大学では教養学部の特攻を卒業したことをグランドスラムと呼びます。

地域の小さなボランティア活動

坂本春江

放送大学卒業後、地域のボランティア活動に参加して10年以上になります。活動内容は独居の76歳以上のご老人の昼食会を月に一度催し、その会場に出向けないご老人の為に宅配も年4回行っていますが、その為の費用を作るために年一度ボランティアバザーをしています。そしてバザーに出品する為に一年かけて作品作りをしているのです。結構年中忙しいのです。料理は家庭料理を独居の方に振舞うことが趣旨であり、バザー作品は会員それぞれの得意とするものを作っています。この頃は腕も上がり見事な物が出来上ります。

どんなものかと言えば刺繍をしたエプロン、花ふきん(刺し子の)、手製のバッグ、帽子、アクセサリー、人形・動物のぬいぐるみ、布団、座布団、半てん、小物入れ等々アイデアが湧き出てどんどん出来上がってきます。社会が高齢化するなかボランティアをする会員も高齢者が多くなりつつあります。そしてボランティア活動も高齢者向けが多いことから、子供たちの生活環境を見守るボランティアも大切ではなからうかと言う考えから、今年の正月に“日本の正月遊びをしよう”と題してイベントを行いました。会場は生涯学習センター(旧公民館)で時間は2時間と決めました。

会場に、すごろく、かるた、百人一首、花合わせ、おはじき、こま回し、羽根つき、凧あげ、喫茶(抹茶)などのコーナーを作り呼びかけました。子供連れの父さん母さん、おじいさん、おばあさん、小学生、中学生と沢山の人が集まり遊戯を楽しみ抹茶を経験していただき盛況でした。私は喫茶の担当で抹茶はお点前を見ながら飲んで頂くこととし、和服を着る人を4人とし交代でお点前をする、人によって流派が違うがそれも面白かった。お客が多いので、裏方で点てたお茶をお運びする人を中学生のサッカークラブの男子三人の申し出がありました。小袱紗に茶碗をのせ、先生に教わったように茶碗を回して正面をお客に向けてお出しする。

これを臆することなく楽しんでやってのけて、とても格好よく、良い雰囲気を作り出しました。このように小学生、中学生が各コーナーで進んで手伝いに参加をしていたこと、親子で楽しんでいる様子、懐かしく遊戯を楽しんでいるご老人を見て、地域の絆が子供たちをそして老いた人々を幸せにしていけるのではないかと感じた次第です。そして今私たち会員は秋のバザーの為に作品作りに力を入れています。



楽しい食事会

横浜事始より牛鍋を

皆川昭三

開港に関しては前号に記事があるので、今回は通商条約終結後の耳目を集めた牛肉の話を書きます。皆さんご存知の福沢諭吉は旧弊打破で知られていますが、書生時代には、肉食方面にも先駆けの巧妙を留め、彼が大阪の緒方洪庵の塾で肉食談義をやったことがあったのです。安政3,4年頃、「難波橋の牛鍋やの親父が豚を買ってきたが、気の弱い奴で殺されへん言うて、緒方の書生が名指しされたんや」そこで緒方は親父に叱るように言った。

「殺してやるけれど、その代わりに何をくれるのや」と注文をつけた。すかさず親父が「頭くれてやる」この言い争いが廻りの笑いを誘ったのであった。

牛鍋の調理が未経験で、其の上珍しさと食肉の怖さから外人の食風俗が忽ち内地人に知れ渡った。横浜には、文久初年ごろ牛肉店があったようだが、みんな穢い、臭いで店前は走りねける有様だった。「文久二年横浜入江町(今の住吉町5丁目の土手には、居酒屋の伊勢熊なる店があった。そこで横浜初めての牛肉店を開こうと夫が妻に相談すると、妻は「そんな食べもん、わけ知らんくせに。そんな商売なら、夫婦別れしてください」と真顔で喧嘩に成ったのである。

女房は攘夷論者だったのだ。その時、傍から仲裁が入り鎮めるように「こうしたらどうだ、1軒の家を二つに仕切り、一方は飯屋として奥さん私、もう片方はだな、牛鍋やにして親父がいいようにやったらどうか」仲裁は見事に成功した。とき恰も庶民の欲望は肉の初食いに集まり、噂が忽ち世間に広まった。亭主の方には千客万来、奥さん側が客なし、女房ついに我を折って、いつしか中の仕切りを取り払った。こっそり味見をしながら亭主に寄り添った。食のことはじめを考えると、最初に口に放り込む人は勇気がとってしまう。日本人は宗教の関係で生き物を殺したり、生臭いものを嫌う。山手の屠牛場が成り立ったのは元治2年7月のことである。ああ、殺生な話は厭だ。

企画便りのレポート

「新緑の高尾山散策」に参加して

佐藤恵子

同窓会主催の5月23日(土)の高尾山散策に初参加した。都心から50分の近さにありながら、緑豊かな国立公園の高尾山は、富士山とともに、平成19年ミシュランの三つ星をとった人気スポットでもある。参加者は男性8名、女性10名の18名であった。企画担当の高橋照夫氏による、入念な下準備のもと、晴天にも恵まれた。初参加ならばこそその新しい仲間との出会いを楽しみ、懐の大きな高尾山の新緑は、緑に飢えていた身体と心を癒してくれた。数十年ぶりのウォーキングとあって、脚力の衰えを感じながらも、どうにか皆様とともに一日を終えることができ、快い汗と疲れは久しぶりに心地よいものであった。

おまけに心配された翌日の筋肉痛もなく、どなたにもお勧めできる散策だと感じた。実際に当日の高尾山では、実に様々な人たちに出会った。乳母車の乳児、年少組らしい幼児、メタボでハーハー息をしながら、でも楽しそうに歩いている人、可愛いわんちゃんたちなど。これだけ多くの人たちが訪れる高尾山でありながら、山全体にチリひとつない美しい山であったことも、大変嬉しかった。次回の企画には、はじめての方たちも、是非、参加されるようお勧めしたい。

～～hato-netに寄せられた参加者の声～～

▼本日は、ご参加いただきありがとうございました。幸い天候に恵まれて、オプションの5号路を走破して予定通り4号路をクリアできました。参加者全員が、反省会(懇親会)に参加いただき、幹事としてお礼申し上げます。秋の行事『歌舞伎を楽しむ』に多数のご参加をお願いいたします。なお、ウォーキングには、同好の方多いと思います。今後、『この指とまれ』方式でウォーキングをやりましょう。ご一報いただければ行事企画担当でセッティングいたします。

企画 高橋照夫

▼高尾山は一度行ってみたかったのですが、これまでその機会がありませんでした。今回その時が来て参加することが出来、しかも天候にも、同行者にも恵まれ、本当に楽しい一日でした。企画してくださり、下見から歩き方、進行状況など一切を配慮してくださった高橋様に心からお礼を申し上げます。また楽しい一日を過ごさせてくださった皆様にも感謝申し上げます。

石橋正彦

▼天候に恵まれ、程よいウォーキング、良き放送大学の仲間、そして懇親会とお陰様で気持ち良い一日を過ごす事ができました。hato-netのメンバーも都合が合えば、是非行事に参加なさってみられると良いですね。

星 礼子

▼同窓会の屋外行事に始めて参加、下見・企画・引率・反省会?まで、幹事さんの行き届いた心配りに感謝!! 大いに楽しませていただきました。緑のシャワー浴びながら、素敵なお仲間とのウォーキングは最高でした。小鳥に負けないぐらい、おしゃべりも楽しみました。お蔭様で今朝は、鼻歌を歌いたいような気分で目覚めました。『この指とまれ!』指が立つのを、待ち構えています。

古内 都

▼天気に恵まれ気持ちの良い1日を過ごすことができました。無理の無い集合時間で解散も程よい時間でした。高い木々の上のほうから聞こえてくる鳥の声を聴きながらの森林浴が元気をくれました。皆さんとのお話も楽しかったです。

坂本春江

▼素晴らしい山登りとウォーキングができました。ありがとうございました。初対面の方のほうが多かったけれど、和気藹々と楽しい時を過ごすことができ最高でした。反省会の時のビールの美味しかったこと! またおいしいビールを飲むためにいい汗流したいと思います。高橋様には下見の段階から懇親会に至るまで、行き届いたお心配りをしていただきただただ感謝です。

谷合初恵

▼この時節柄、テレビで「高尾山」の紹介を何回か見てミシュランの「日本の絶景」で選ばれた山ということで、とても心待ちにしていました。お天気にも恵まれ、濃淡

の木々の緑の森林浴からも沢山のパワーを頂きましたし、参加の皆様方との会話を楽しみながらのウォーキングで疲れは全く感じませんでした。

浅井公子

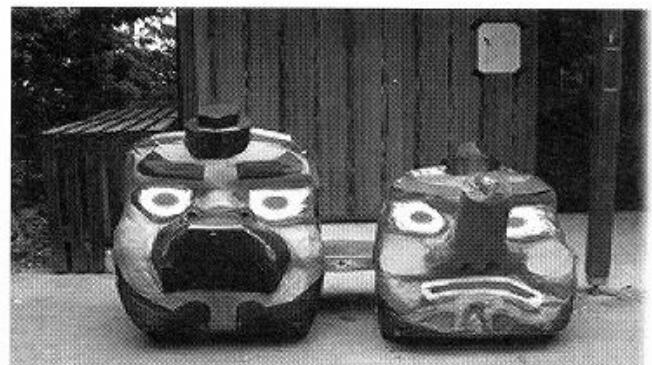
～～今回参加できなかった皆様!～～

神奈川同窓会は、放送大学卒業の同窓という一つの縁で結ばれています。お互いほとんどの会員は見ず知らずの儂い関係ですね。しかし、ひとたび共に集い挨拶を交わし、ともに酒を酌み交わせばたちどころに親しみがわきます。これからも出会いの機会を作ってまいりますので、是非お出かけ下さい。

木村勝紀



標高599mの高尾山(東京都八王子市高尾町)



大きな天狗にも出会った

フェスタ・ヨコハマのレポート

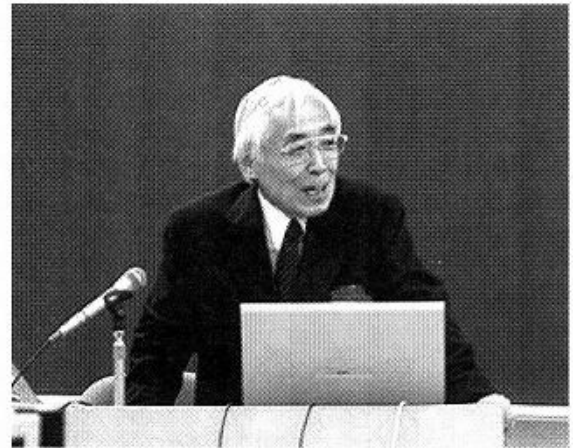
第23回フェスタ・ヨコハマ

木下義則

2009年8月29日・30日に放送大学神奈川学習センター学園祭「フェスタ・ヨコハマ」が「出あい・触れあい・学びあい」というコンセプトのもと、今年度は「横浜開港150周年記念」関連の企画も盛り込み開催されました。主催は神奈川同窓会も参画している放送大学神奈川サークル協議会で放送大学神奈川学習センターが後援でした。初日の午後は横浜開港150周年記念「特別講義鑑賞会」を挙行し、笠原潔元放送大学教授の特別講義「黒船が運んだ音楽」をメインに開港資料館から借りた映像資料2本を上映しました。開港当時の様子に思いを馳せ、先人たちの偉業に感謝し150年という歴史の重さを再確認したイベントでした。

30日はメイン企画の一つである、石弘光放送大学長の記念講演会で始まりました。「今後の日本経済・財政の行方」というテーマで説得力のある講演の後、会場を埋め尽くした学生からの質問に分かり易く丁寧な解説をしていただき、予定していた時間があっという間に過ぎてしまいました。引き続き会場において、同窓会社会貢献事業であるフォスタープランの紹介ビデオを上映しました。12時30分に恒例の交流会がスタートしました。今年の参加券頒布状況は300を超える人が申し込みされたとのことで、交流会場も満員の盛況でした。

同窓会は今年からお茶会を催しました、会場の都合等で抽選による30名に限定したものの大変好評でフェスタ・ヨコハマの新たな呼び物になることでしょう。レク・サークルのパフォーマンス、各サークルの出店も好評で参加者も本当に楽しそうに交流をしていました。交流会の最後のイベントは同窓会が永年担ってきた恒例のビンゴ大会です。参加者も読み上げられる数字に集中し大変盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい全員で後片付けを行い本年度のフェスタ・ヨコハマも終了しました。主催者の最後の挨拶にもありましたが、神奈川サークル協議会は学生・同窓生の皆様に楽しんでいただけるイベントを企画運営していきます。同窓会も積極的に参画し放送大学神奈川学習センターの発展に寄与していきたいと考えております。



「今後の日本経済・財政の行方」の石弘光学長の記念講演



交流会で石学長を囲んで記念撮影



他のサークルに交じって今回から張り出された神奈川同窓会とフォスター・プランの立て看板と横断幕 (designed by Microsoft Publisher)

神奈川同窓会

ビンゴ大会

大きさ 幅82cm 高さ25cm Font320p

神奈川同窓会

お抹茶コーナー

今回初めての催しでした。お席を30席用意し、受付で先着100名の皆さんがくじを引き、30名の方が当選し参加しました。同窓会会員の今井宗慶先生、山本悦子さん、斉藤昌子さんご協力を得、また石弘光学長にも飛び入りで参加していただきました。(場所: 第二講義室、時間: 午後1時30分～2時30分)

一筆感想記

- 静かなお席でおいしく楽しませていただきました。日頃の忙しさを忘れ日本の文化にひたらせて頂き感謝申し上げます。
- お茶うけもおいしかった。お作法で少しにがかったが高級なお茶を飲んだ感じがした。
- お菓子もお茶もとてもおいしかったです。どうもありがとうございました。
- お作法などは全くわかりませんでしたが、(となりの方のマネをしてしのぎました) お菓子の甘みと、お茶の苦みがちょうどよくおいしかったです。うつわも鳥の絵も、香ろもかわいらしく雅な雰囲気思いがけずふれられて嬉しく思いました。ありがとうございます!!
- お美味しく頂きました。お茶碗が素敵だったと思います。
- 限られた人数に参加できて光栄です。全員が参加できないという企画も楽しいことだと思いました。ごちそうさまでした。
- たいへんおいしくいただきました 久しぶりのお茶でとてもたのしいひとときを有りがとうございました
- 同窓会の皆様、ごちそうさまでした。美味でした。落ち着いた会場でほっとして味わいました。ありがとうございました。
- 結構なお手前でした。お抹茶コーナーは成功だったと思います。ありがとうございました。
- たいへんおいしくいただきました。着物を着てきたいと思いました。
- 先生のお点前が見られるとよかったと思います。そういう声が多かったです。お菓子の銘とか少し説明もほしかったです。
- 良い計画だったと思います。たたみの所も出来れば良いとおもいます。基本、基礎であれば日本文化の理解に役立つ様に思います。
- おいしいお茶ありがとうございます。せっかくですから陰点前でなくお客の前で点前していただけたら良かったと思います。又軸、花などのご説明もほしいですね。
- おいしゅうございました。貴重な経験でした。
- ありがとうございます。心が落ち着きました。
- おいしくいただきました。先生のお点前をはいけんできるともっと良かったです。

- 久しぶりにお抹茶をいただく機会をいただきとても、嬉しく思います。おいしかったです。又、お願します。ありがとうございました。
- お茶前(和菓子)も、とてもおいしかったです。お手前、茶ともすばらしかったです。良い勉強になりました。ごちそう様でした。
- ありがとうございます。大変おいしく頂きました。和装の方がお一人いらしゃったらよかったかなあ、、、と思いました。
- おいしいお菓子とお抹茶ありがとうございます。いい思い出ができました。



一服
どうぞ

ビンゴゲーム大会

志賀健三

ビンゴゲームは午後3時から始まる予定が約30分繰り上る。抹茶コーナーが終わってから手伝ってくれるはずの人達も順次かけつけ、なんとか間に合った。持ち時間は30分、景品総数を50本と少なくしたりラッキーナンバーを設けたりして時間短縮を図る。当日は選挙日と重なり早く帰られる方もいたので参加者が少ないのではと気をもんだが、150名くらいの方が参加されたのでは、終わってみれば20分強、少し進行が早すぎたかな。景品をゲットした嬉しそうな顔が・・・前日からの段取りや景品選びに関わった方々の苦心が報われる瞬間である。
関係者の皆さんご協力ありがとうございました。



どれに
しようかな...

フォスター・プラン報告 2009 年秋 ～チャイルドの交代～

星 礼子

1991年より当同窓会の社会貢献の一環としてスタートしたフォスター・プラン活動は、皆様の暖かいご支援のお陰で18年継続しています。会員の連絡網である波濤ネットに掲載されていますが、チャイルドは当初の1名から、現在まで延べ13名になります。私達はスポンサーとして彼らのコミュニティの生活環境の向上を支援してきました。

この度、フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)より、中国のジェンメイさんが18才になったので登録終了する旨のお知らせがありました。登録終了の通知が届いてから2週間以内であれば、新しいチャイルドの国、性別等スポンサー側の希望がある程度かなえられますが、学習センターへ届く資料のチェックが遅れるとプラン・ジャパンの方から紹介されます。今度の新しいチャイルドは西アフリカ・マリ共和国のマドウ・ドニコ・シセという5才の男の子です。

また、インドのラビ・ナリゲ君は15才ですが12月に登録終了になるとのことです。

ラビ君のコミュニティは、これまで教育・保健・住居・生計などの分野で多くのプロジェクトを実施してきました。その努力が実り、現地事務所職員と地域の人々が話し合った結果、今後自分達の力でプロジェクトを維持・発展させていく事ができるとの合意に達したのです。プランの活動の成果として最も理想的な結果です。

現在、私達はチャイルド1人につき毎月5千円、5人で年間30万円の援助金を必要としています。平成20年度は初めて寄付金が下回り、今現在も昨年比1割程度少ない状況です。

今後とも皆さまのご支援をよろしくお願い致します。



インド
ラビ・ナリゲ君
15才



インドネシア
リンダネシア君
6才



西アフリカ
マリ共和国
マドウ君
5才



バングラデシュ
ロジナちゃん
9才



バングラデシュ
スパンジン君
14才

放送大学同窓会連合会の ホームページの紹介

吉原司郎

昨年は同窓会連合会の会長を我が神奈川同窓会が仰せつかり役員をはじめ会員の皆様のご協力が無事責任を全うすることができました。本年は埼玉同窓会が連合会の長を担当され、益々活性化しております。特筆すべき点は、従来は機関紙「公孫樹」により各同窓会の活動状況が紹介されておりましたが、連合会に加入している同窓会の活動状況をホームページに掲載され内容も豊富になりました。全国の同窓会の活動状況がリアルに、また、多くの情報を知ることができます。

全国にはサテライトスペースを含め学習センターが57あり、多くの同窓会が活動状況をホームページに投稿しております。メニューとしては、ニュース(同窓会の最近の行事紹介)やMyアルバム/My資料(活動状況が写真)掲示板(意見交換の場)、各同窓会の機関紙等が提供されております。放送大学卒業生の生きざまから啓発されるものがあります。

同窓会連合会のホームページを覗いてみませんか!きっと触発されるものがあります。

放送大学同窓会連合会

<http://uair-dosokairengo.net/>

総会および講演会をふりかえって

志賀健三

総会は同窓会の行事のなかでは会員相互の交流の機会としての側面もあります。今後もっと多くの方々が出席していただければと思っております。出欠ご連絡用葉書(委任状)のコメントは楽しみにしております。以下その一部をご紹介します。

『たまたま手にした本の著者が放送大学の同窓生であることを知ったりすると、とても嬉しく、また励まされた気持ちになります。私自身もまた他の同窓生の励みとなるような存在となれるよう、精進を続けようと思います。』(鎌倉市・伊藤さん)

『放大卒業後、社会福祉士の資格をとりましたが、残念乍ら家内が要介護3となり家庭福祉士として日夜老々介護で頑張っております。』(伊勢原市・細川さん)

総会終了後は大石氏による裁判員制度の講演会で説明はパンフレットにより12項目の質問に沿う形で進められた。その後のDVD上映は約1時間。主人公(市民より選ばれた裁判員)が当初の消極的な態度から家庭(息子)の出来事をきっかけに参加意識も変わって行く様子に共感。質疑応答では当日回答いただけなかった質問にたいして後日手紙で丁寧な回答をいただきました。(内容は下記に掲載)なお講演会終了後は新会員をはじめ学習センター所長や学校職員も交え会話のつきない懇親会となった。有り難うございました。

平成21年6月13日(土)第20回放送大学神奈川同窓会通常総会終了後の講演会「裁判員制度 もしあなたがえらばれたら」の中での質問について、横浜地方検察庁検察広報宮付 久原健吾氏より文書で下記のとおり回答が届きました。

Q 放送大学の学生は、裁判員を辞退することができますか？

A 裁判員法第16条第3項によると学生又は生徒というのは、「通常通学を要する課程に在学するものに限る」と記載されており、さらに具体的には「平日のほぼすべての曜日の昼間の時間帯に授業時間が設定されている課程をさす」ということになっております。つまり、通信制や定時制、時々授業を受けるというような課程の学生は辞退することができません。

121年の伝統と歴史のある歌舞伎座は、平成22年4月の興行をもって、改築のため、しばらくの間休館となります。

神奈川同窓会の行事のご案内

歌舞伎観賞会

芸能鑑賞第2弾は歌舞伎の鑑賞会を企画しました。東銀座の歌舞伎座は来春建て替えて、ただ今、さよなら公演を行っております。歌舞伎座の雰囲気や歌舞伎を楽しみましょう。

日時 平成21年11月21日(土)
11:00の昼の部公演
集合 9:00分に集合 京浜急行横浜駅
中央改札口。
泉岳寺乗換で東銀座下車少し早めに
入場してお土産購入時間とします。
昼食 場内での弁当購入、
または喫食か集合時お弁当持参ください。
費用 3階A席入場料 4200円
前売り券を手配し
交通費、昼食は個人負担
申込 高橋照夫
〒259-1132 伊勢原市桜台4-7-53
FAX 0463-92-8037
e-mail nsjxw765@ybb.ne.jp
締切 10月20日
(注) 演目、出演者は未定です。
発表を待つて別途ご案内します

講演会と映画鑑賞会(予告)

恒例の映画鑑賞会を
サークル協議会の講演会と共催で行います。

日時 平成22年2月28日(日)
午前の部はサークル協議会主催の講演会と
午後の部は同窓会主催のフォスタープラン講演会と映画鑑賞会です。

詳しい内容が決まりましたら、hato-netおよびセンターの掲示板にてご案内いたします。両企画とも皆様多数のご参加をお待ちします。

(企画担当 高橋照夫)



『hatoh-net』のページ

木村勝紀

未来を託す

神奈川同窓会の皆さん! こんにちは。
この記事を目にされる頃には、もう秋の気配が濃厚になっていることでしょう。夏の暑さを無事に乗り越えられたこと、ご同慶の至りに存じます。

さて、このページは、「hatoh-net」への参加のお誘いです。同窓会とは?同窓会は、共に放送大学に学び、苦難と努力の末に勝ち取った「卒業」という栄光を唯一の絆として成り立っています。お互いに顔を合わせる機会の乏しいご縁ではありますが、この絆を大切に、そして会員であることの意義を実感できる同窓会にしていきたいものです。

「hatoh-net」は絆をつなぐ蜘蛛の糸!

神奈川同窓会は、活字媒体の広報誌「波濤」に連帯感醸成の役割を託してきました。しかし、年2回という頻度と限られた紙面では、果たすべき使命の達成には限界があります。それらを補うべく、ネット時代の同窓会にふさわしい「hatoh-net」の導入を行い運用してきました。

「hatoh-net」は、時間と距離と空間を超越して、瞬時に全体と個人の情報交換を可能とする仕組みです。

「hatoh-net」への登録は簡単です。eメールアドレスを登録して頂くだけでたちどころに完了です。

右に、現在の「hatoh-net」登録会員を示しましたが、同窓会会員全体に占める割合は未だ15%程度です。今後の同窓会にとって、絆をつなぐための「hatoh-net」への登録会員を如何に増やすかが試金石なることでしょう。

近年役員会だけは、きわめて活性化されています。これは役員用の「yakuin-net」(略称)を導入したことが貢献したものと思われまます。この実績に自信を得て、同窓会全体の活性化を図るべく「hatoh-net」への参加を勧誘させていただく次第です。皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。尚、この件についてのお問合せは下記にお願い申し上げます。

管理者からお願い

hatoh-net@yahooogroups.jpのグループメンバー登録欄にはニックネーム欄と会員名欄がありますが、管理者が登録した会員名(フルネームで登録してあります)を変更しない様をお願いいたします。

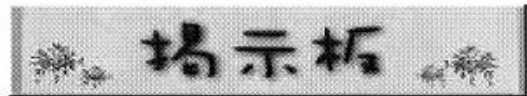
これをハンドルネームに変えたり、空白にするケースが目立ちます。管理者が照合する際非常に時間を要していますのでご協力をお願いいたします。なおニックネーム欄は自由に使えます。

システム管理 岡本興和
okow1439@hotmail.com

中矢 真由美	東 絹子
小泉 暁美	金谷 千年
山田 文紀	徳山 大華
千葉 良一	渡辺 久江
永井 藤樹	西尾 まつ枝
後藤 雄二	古本 教子
坂本 春江	高橋 照夫
浜 都記子	岡本 興和
島 秀子	大木 陸夫
古内 都	星 礼子
石橋 正彦	山之内 八重子
本多 和男	秋永 佐恵子
二ノ宮 一郎	小澤 節子
伊藤 博信	田澤 誠一
笠井 政記	植地 勢作
高垣 和子	宮崎 博之
川崎 正	佐藤 恵子
中村 健太郎	山崎 悟
志賀 健三	吉田 昭二
渡辺 和子	杉山 秀雄
小須田 正孝	谷合 初恵
浅井 公子	竹内 喜紀
小川 公恵	藤井 輝
寺村 紀美夫	大島 富夫
木村 勝紀	吉岡 敏子
木村 吉雄	石井 次子
北谷 博	平井 秀明
三石 健司	山田 和嘉子
鯉沼 正弘	渡辺 良三
高橋 知也	今日子
上野 道子	森木 やす江
佐々木 邦	小山 義広
木下 義則	金田 保男
松本 道男	山田 勇
保田 昌男	真田 義夫
間庭 正子	吉原 司郎
松倉 信一	飯塚 佳子
梶川 美智子	川上 由美子

上の一覧はメールアドレスの先頭の一字を昇順で並べ替えて記載してあります。

事務局だより



新入会者の紹介(2009.3.26から8.20)敬称略

金田保男	佐々木幹夫	松田義美	太田久美
佐藤敬	東口半七	廣瀬博雄	小柴裕子
大和田義明	池谷頼子	川端洋子	大野秀浩
前迫勇毅	藤井孝子	丸山鈴子	羽生修二

以上16名よろしくお願ひ致します。

*(ただし波濤37号で紹介の14名は除く)

会費の督促

平成21年度分の年会費未納の方は至急下記の同窓会口座へ払込下さい。
尚ご自分の年度払込状況がご不明の方もしくはお確かめになりたい方事務局までお問い合わせ下さい。

[年会費振込先]

ゆうちょ銀行 口座:00250-4-16183
加入者名:放送大学神奈川同窓会

[事務局連絡先]

〒246-0025
横浜市瀬谷区阿久和西2-55-8
志賀健三

住所変更等

転居や区画変更などお有りの節は事務局までハガキ電話メールなどでご連絡下さい。

訃報

山下雄行様(H20年9月逝去)
ご冥福をお祈り致します。 合掌

同窓会ホームページについて

寺村 紀美夫

同窓会のホームページ(HP)は、同窓会の目的である「神奈川同窓会は、会員の親睦、情報交換、相互研鑽、社会への貢献並びに放送大学の発展に寄与することを目的とする」を具体的に実践するために開設されたものです。特に会員相互の親睦、情報交換に寄与していくものと思っています。そのためにHP管理者は、内容(コンテンツ)を日々新たに更新したく、腐心しています。是非HPにアクセスして頂き、ご感想、ご意見等をHPの「会員投稿コーナー」または「hatoh-net」に投稿して下さいようお願いします。

さらに、会員皆様からのHPに載せるためのエッセイ、小論文、詩、和歌、俳句、川柳、写真、放送大学生時代の思い出や感想等何でもよろしいので投稿をお待ちしています。ご協力のほどよろしくお願いします。

HPアドレスはこちらです↓

http://www.geocities.jp/hatoh_net/

hとnの間はアンダーバーです。

放送大学神奈川学習センターの壁面が明るく塗り替えられました。また学習センター隣接している敷地に6階建ての宿舎建設と共同住宅の工事が始まっています。工事完成は2010年9月が予定となっています。

平成21年1学期の単位認定試験が大学院は7/24(金)・7/25(日) 教養学部は7/26(日)から8/2(日)まで実施されました。この期間中に神奈川同窓会を始め各サークルの有志が学生証発行の交付作業や継続・卒業見込み学生・未登録学生への電話フォローのスタッフ応援に協力しました。

長年要望が多かった試験問題の持ち帰りが今回よりできるようになりました。これにより試験結果の見直しや照合が容易になりました。

神奈川学習センターの2階にいままで倉庫として使っていた部屋を整理整頓して同窓会、学生団体室の部屋ができました。また学生談話室に同窓会専用の掲示板ができました。ここに会報誌波濤の最新号、フォスター・プランの印刷物の掲示や各種行事やイベントなどを掲示し同窓会の活動をお知らせしています。

放送大学神奈川学習センターでは平成22年度の入学の学生を募集しております。同時に入学案内の説明や公開講演会など積極的に進めています。お知り合いの方に入学の機会をお知らせください。

〒232-0061

横浜市南区大岡2-31-1

電話045-710-1910

編集後記

会報誌波濤が出来上がりました。平成2年12月19日、創刊号が生まれ、その名を支部会報と名付け、2号からは波濤となりました。今回は19年目の38号です。20年かけて6専攻すべて卒業し学長表彰を受けた吉田さんの寄稿文はいかがでしたか。新聞社の取材で「ずーと放送大学と関係を持ち続けたい」と語った吉田さんや皆様のご協力を得て魅力ある同窓会と会報誌作りに頑張ります。

OK記